

# 事務事業評価シート

(H.30)No.	1466	(H.29)No.	1466
-----------	------	-----------	------

事務事業名	コミュニティ・スクール導入等促進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	学校教育室	中森 早苗	

会計区分	事業コード	462516
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	教育振興費	
項 教育総務費	(小事業名)	
目 教育振興費	コミュニティ・スクール導入等促進事業	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち
	基本施策	1	生きる力を育む教育の推進
	施 策	1	学校教育
重点プロジェクト	2. 若者定住促進プロジェクト		

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)	学校運営協議会の設置に向けた取組を推進し、学校と家庭・地域の組織的な連携・協働体制を確立することにより、地域とともにある学校づくりを推進します。
事業内容	コミュニティ・スクールの設置に向けた市の体制づくりを進めるとともに、研修推進校で取り組んだ研究の成果・課題を検証し、平成32年度までに市内全小中学校に対しコミュニティ・スクールの導入を検討します。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)	H.30年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究取組校2校学校運営協議会設置。(小1校・中1校)</li> <li>名張市小中一貫コミュニティ・スクール推進協議会開催(2回)。</li> <li>教職員・保護者・地域住民を対象に、コミュニティ・スクールに対する理解を深めるために、制度説明及び講演会を開催。(2回)</li> <li>コミュニティ・スクールの中学校区内の連携推進にむけた学校運営協議会活用の在り方、組織づくりについて、先進地の取組を視察し検討した。(5地域・フォーラム4会場)</li> <li>学校運営協議会への支援(2回)、コミュニティ・スクールサポート事業の実施(14回)</li> </ul>	コミュニティ・スクール推進事業に移行

H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		1,077千円		0千円	0千円	0千円	0千円
内訳(千円)	国・県支出金	718		0	0	0	
	地方債						
	その他( )						
	一般財源	0	359	0	0	0	0
人工数	職員		0.22人				
	臨時職員等		0.02人				
②概算人件費	0千円	1,664千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
①+②総事業費	0千円	2,741千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円

## 4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
第二次名張市子ども教育ビジョンの施策の一つとして、コミュニティ・スクールの導入に向けた体制づくりがありますが、本事業は、その導入を促進するための国の補助事業であり、研究取組校では教員も加配され、まちづくり委員会や保護者等が入った準備委員会(推進委員会)を組織する等、事業を推進しました。地域とともにある学校づくり・学校を核とした地域づくりの両方の視点から、子どもたちの生きる力の育成と地域の担い手づくりに貢献しています。

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	統合(予定含む)
---	----------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
コミュニティ・スクール設置が努力義務になったことを受け、学校を対象とする国・県の補助事業が終了しました。今後は、市内全小中学校の学校運営協議会設置に向けて導入を促進するとともに、設置校の学校運営協議会の取組が充実するように支援する必要があります。

6. 事務事業の取組に関する市の計画
第二次名張市子ども教育ビジョン ばりっ子すくすく計画(第3次) 第3次名張市地域福祉計画